

# INFORMATION



## 第9回宇宙環境利用に関する地上研究の公募

(財)日本宇宙フォーラムでは、宇宙航空研究開発機構(JAXA)の委託を受け、「宇宙環境利用に関する公募地上研究制度」は国際宇宙ステーション/「きぼう」等での宇宙実験をめざす地上での準備研究テーマや、宇宙環境利用に資する技術開発テーマを募集します。本制度で選定された研究テーマが宇宙実験提案に発展し、「きぼう」の活用につながることを期待されています。

### 1. 募集する研究分野

物理学・化学系分野

微小重力などの宇宙環境の特性を活かした物理学・化学研究

生命科学系分野

微小重力などの宇宙環境の特性を活かした生命現象の探求

宇宙を利用するための医学・心理学研究

宇宙科学・地球科学系分野

大気圏外からの宇宙の観測/宇宙からの地球の観測

宇宙利用技術分野

宇宙利用の実現を支える技術開発

### 2. 微小重力実験機会の提供

小型ジェット機の放物線飛行や、真空中の自由落下による微小重力実験の機会を提供します

### 3. 募集期間

平成18年5月16日(水)~平成18年7月14日(金)

### 4. 応募書類等

日本宇宙フォーラムのホームページからダウンロードしてください。

<http://www4.jsforum.or.jp/public/koubo/82.html>

### 5. お問い合わせ先

財団法人 日本宇宙フォーラム 宇宙利用技術推進部

〒100-0004 東京都千代田区大手町二丁目2番1号 新大手町ビル7階

TEL: 03-5200-1303 FAX: 03-5200-1421

E-MAIL: [koubo@jsforum.or.jp](mailto:koubo@jsforum.or.jp)



## 生理学若手サマースクール2006

テーマ:「脳の機能発達の生理学的理解をめざして」

開催日時:平成18年7月31日(月)~8月2日(水)

開催場所:国立オリンピック記念青少年総合センター(東京・代々木)

(<http://nyc.niye.go.jp/>)

参加費:一般 6,000円 大学院生 4,000円

大学生 2,000円(生理学会会員は1,000円割引)

(割引対象の方は申し込みの際日本生理学会の会員番号を入力する必要があります。学会員番号が不明の方は日本生理学会事務局までお問い合わせください)

Tel: 03-3815-1624(月~金10:30-17:30)

E-mail: [psj@qa2.so-net.ne.jp](mailto:psj@qa2.so-net.ne.jp)

定員:180名

対象:大学院生・大学生・研究者(企業の方も)

含む)

ホームページ:

<http://www.tamagawa.ac.jp/sisetu/gakujutu/brain/ss06/index.htm>

申し込み:

ホームページから事前申し込みください

アドバイザー:

金子章道 (IUPS 会長・慶応義塾大学名誉教授・星城大学リハビリテーション学部)

岡田泰伸 (日本生理学会会長・生理学研究所副所長・教授)

泰羅雅登 (日本大学大学院総合科学研究科・教授)

運営委員長:

高橋英彦 (独立行政法人放射線医学総合研究所主任研究員)

主催: 日本生理学会

後援: 文部科学省特定領域研究「統合脳5領域」事務局: 玉川大学学術研究所脳科学研究施設脳活動イメージング部門

松田哲也

Tel & Fax: 042-739-8458

E-mail: [tetsuya@lab.tamagawa.ac.jp](mailto:tetsuya@lab.tamagawa.ac.jp)

ポスター発表:

7月31日(月) 18時から懇親会会場でポスター発表を行います。

内容は、これまでに行われた研究結果のみならず、これから行う予定の計画の発表でも問題ありません。

1演題に対し、1M四方のボードを用意しますので、自由に発表ください。またパソコンを使用してデモンストレーションを行うことも可能です。

分野、内容等一切制限ありません。現在行っている研究・興味をもっている研究について自由に発表してください。

参加者全員の発表を期待しております。

【プログラム】(敬称略)

◆7月31日(月)

10:00—

開講式

10:30—12:00

「神経科学の基礎知識」

泰羅雅登 (日本大学大学院総合科学研究科・教授)

13:00—15:00

「高次視覚野系における臨界期」

杉田陽一 (産業技術総合研究所脳神経情報研究部門・部門長)

15:30—17:30

「ヒト脳機能の初期発達」

多賀巖太郎 (東京大学大学院教育学研究科・助教授)

18:00—20:00

懇親会・ポスター発表

◆8月1日(火)

10:00—12:00

「子どもの社会性の発達とその障害」

榊原洋一 (お茶の水女子大学子ども発達教育研究センター・教授)

13:00—15:00

「自閉症への挑戦: 応用行動分析による早期発達支援」

中野良顯 (教育臨床研究機構・元上智大学・教授)

15:30—17:30

「大脳視覚野の発達と可塑性」

津本忠治 (理化学研究所脳科学総合研究センター・ユニットリーダー)

◆8月2日(水)

10:00—12:00

「乳児音声知覚の発達」

馬塚れい子 (理化学研究所脳科学総合研究センター・チームリーダー)

13:00—15:00

「大脳皮質領野特異的発現遺伝子の解析」

山森哲雄 (基礎生物学研究所脳生物学研究部門・部門長)

15:00—

閉講式



## 2007年度ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム (HFSP) 長期フェローシップ及び学際的フェローシップ募集について

ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム (HFSP) は、1987年のヴェネチア・サミットにおいて日本政府より提唱した国際プロジェクトで、学際性、国際性、若手重視の基本理念の下、生体の持つ優れた機能解明に寄与する基礎研究を助成しています。本プログラムは、日本、アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ、イタリア、スイス、カナダ、韓国、オーストラリア、EUの全11カ国・地域の運営支援国により運営されています。日本国内では、文部科学省、経済産業省が本プログラムに対して財政的支援を行っています。

国際HFSP推進機構 (HFSPPO) では、以下の①～④の事業を行っております。

- ①国際共同研究チームへの研究費の助成制度である「研究グラント事業」
- ②国外で研究を行うための旅費及び滞在費の助成制度である「フェローシップ事業」
- ③フェローシップ終了後の帰国後の支援制度である「キャリア・デベロップメント・アワード事業」
- ④HFSP受賞者の国際的な研究集会である「受賞者会合」

このたび、②の「フェローシップ事業」におきまして、2007年度HFSP長期フェローシップ及び学際的フェローシップの募集を開始することになりましたのでお知らせいたします。詳細につきましては以下をご覧ください。

### ◆長期フェローシップ

博士号取得後3年以内の生命科学分野の研究者が国外で研究を行うための助成制度です。助成期間は3年間で、年間574万円の生活費、年間98万2千円の研究費と旅費、及び15万9千円の語学研修費（初年度のみ）等が支給されます（家族手当・育児休暇に伴う手当あり）。長期フェローシップでは新しい分野に研究の方向を転換することが重視されています。2006年度は83名採択（応募者629名）（うち日本人14名採択（応募者98名））されました。

### ◆学際的フェローシップ

生命科学分野以外（物理学、化学、数学、工学、コンピューター科学等）の研究者が、国外で生命科学分野の研究を行うことを支援する助成制度です。専門分野の大きな方向転換を図り、新しい研究分野に進出することが期待されています。応募条件は長期フェローシップと同じです。2006年度は10名採択（応募者55名）（うち日本人採択なし（応募者1名））されました。

### ◆短期フェローシップ

学際的な研究など新たな研究分野について研究する機会を支援する短期間のフェローシップで、2週間～3カ月の旅費及び滞在費を助成しています。申請は随時受け付けています。

### ■長期及び学際的フェローシップ受賞研究例

- ・小脳神経回路の機能
- ・長期記憶形成の分子機構
- ・ネズミにおける味覚地図の視覚化
- ・ミトコンドリア・リボソームの結晶構造解析
- ・シグナリング経路進化のメカニズム解読
- ・アクチンフィラメント核形成の構造的基礎
- ・RNAポリメラーゼII開始複合体の構造決定
- ・ショウジョウバエRNAi複合体形成過程の生化学的解析
- ・活性クロマチンにおけるヒストン修飾パターンの影響調査
- ・タンパク質間相互作用における特異性のコンピューターデザイン
- ・ジスルフィド結合の存在下及び非存在下におけるタンパク質ダイナミクスの直接観察 等

### ■応募方法（申請は英語でオンラインのみ）

国際HFSP推進機構 (HFSPPO) ホームページ及び日本語版ホームページに掲載されているガイドライン（募集要項）に従い、HFSPPOホームページからプレ登録を行います。その際に得られたパスワードを使ってオンライン申請書を入手し、直接オンライン申請します。応募に関してのお問い合わせは、直接、HFSPPOまでお願いいたします。

■締め切り

※ウェブサイトでの申請は7月初旬より開始予定

プレ登録（パスワード取得）締め切り：2006年8月24日

申請締め切り：2006年8月31日

■お問い合わせ先（英語のみ）

Tel：+33-3-88-21-51-27

Fax：+33-3-88-32-88-97

E-mail：fellow@hfsp.org

国際HFSP推進機構ホームページ

<http://www.hfsp.org/>（フランス・ストラスブール市）

HFSP日本語版ホームページ

<http://jhfsp.jsf.or.jp/>

※HFSP日本語版ホームページの事業概要には、「よくある質問（FAQ）」としてQ&A形式のコナーがございますのでこちらもご覧ください。



## 第53回中部日本生理学会（第1報）

日程：2006/9/27（水）～2006/9/28（木）

会場：山梨大学甲府キャンパス

教育人間科学部総合研究棟（Y号館）

〒400-8510 山梨県甲府市武田4-4-37（医学部キャンパス内ではありませんのでご注意ください。）

連絡先：〒409-3898 山梨県中央市下河東1110（旧：玉穂町下河東1110）

山梨大学医学部第1生理科

第53回中部日本生理学会事務局（担

当：三枝岳志）

TEL：055-273-9532,

FAX：055-273-6730

E-mail：tsaigusa@yamanashi.ac.jp

参加登録・演題受付要領：

第2報にてご案内申し上げます。

詳細：

<http://www.yamanashi.ac.jp/education/medical/basic/physio01/chubu.html>



## 千里ライフサイエンスセミナー

### 「ケミカルバイオロジーが拓く21世紀の創薬研究」

日時：平成18年9月29日（金）10：00～17：00

場所：千里ライフサイエンスセンタービル5階  
ライフホール

主催：財団法人千里ライフサイエンス振興財団  
協賛：株式会社千里ライフサイエンスセンター  
着眼点：

ケミカルバイオロジーは化学と生命科学の融合によるポストゲノム時代の新しい研究領域で、ゲノム科学などと同様に広く生命科学の基盤となる可能性を有している。また、ケミカルバイオロジーは有機化合物を基礎として生命科学研究を行なうことから、治療薬や診断薬など有用な化合物開

発に直結する産業政策上の重要領域であるともいえる。それゆえ、米国ではバイオインフォマティクスや構造生物学などとともにNIHの将来戦略5本柱の1つとして推進され、ケミカルゲノミスセンター（NIHCG）を中心にケミカルゲノミクスプロジェクトが2004年より開始された。ヨーロッパや中国でも化合物バンクやケミカルゲノミスセンターが設立され、ケミカルバイオロジーに関する研究基盤の整備が急速に進められている。今回の千里ライフサイエンスセミナーが契機となり、ケミカルバイオロジー研究の輪が、日本でも拡大していくことを願って止まない。

コーディネーター：

東京医科歯科大学大学院 疾患生命科学研究所  
萩原正敏

プログラム：

第一部：分子プローブによる生命情報の解析

1. 生物現象を可視化するセンサー分子開発によるケミカルバイオロジー展開

大阪大学大学院工学研究科 生命先端工学専攻 教授 菊地和也

2. 生体内分子科学の推進のための新しい化学

岐阜大学大学院医学系研究科 生命機能分子設計部門 教授 鈴木正昭

第二部：分子プローブによる生命情報の制御

3. 情報から制御へ

京都大学大学院薬学研究科 薬品有機製造学教授 藤井信孝

4. 遺伝子発現と細胞分化のケミカルバイオロジー

京都大学 化学研究所 生体機能化学研究系教授 上杉志成

第三部：分子プローブから創薬への展開

5. 低分子によるリピートDNA配列の認識

大阪大学 産業科学研究所機能分子科学部門教授 中谷和彦

6. mRNA プロセッシングを標的とする新しい抗ウイルス薬

東京医科歯科大学大学院 疾患生命科学研究所 教授 萩原正敏

参加費（講演要旨集含む）：

3,000円（会員：大学・官公庁職員，財団の賛助会員）；5,000円（非会員）；1,000円（学生）

定員：300名

申込方法：

氏名，〒所在地，勤務先，所属，電話およびFAX番号を明記の上，郵便，FAXまたは電子メールで下記宛にお申込下さい。受付の通知を返送いたしますので，通知書に記載した振込先口座に参加費をお振込み下さい。入金を確認後，領収書兼参加証を送付いたします。

申込先：(財)千里ライフサイエンス振興財団セ  
ミナー (W2) 係

〒560-0082 大阪府豊中市新千里東町1-4-2  
千里ライフサイエンスセンタービル8F

TEL：06-6873-2001 FAX：06-6873-2002

E-mail：dnp-lsf@senri-lc.co.jp

(注：lsfは「エルエスエフ」，lcは「エルシー」)



## 第17回日本病態生理学会大会

## The 17<sup>th</sup> Annual Meeting of Japanese Society of Pathophysiology

会期：平成19年1月27日（土）～28日（日）

会場：那覇市ぶんかテンプス館

沖縄県那覇市牧志3丁目2番10号

TEL：098-868-7810

FAX：098-686-7820

会長：小杉忠誠（琉球大学医学部形態機能医科学講座 生理学第一分野）

参加費等：大会参加費（教職員） 3,000円

大会参加費（大学院生） 1,000円

大会参加費（一般学生） 500円

懇親会費 5,000円

参加・演題申込締切日：

平成18年9月22日（金）

一般演題募集（学部学生による研究発表を含みます）

一般演題発表形式：

一般演題の発表は口演とし，PC出力プロジェクターのみにさせて頂きます。

一般演題の公演時間は演題15分（口演10分，討論5分）の予定です。

プログラム：

特別講演1「琉球人，アイヌ民族，そして日本人」  
石田 肇（琉球大学 医学部・教授）

特別講演2「沖縄の魚の性転換」

中村 将（琉球大学 熱帯生物圏研究センター・教授）

教育講演 「記憶と学習の分子機構」  
遠藤昌吾（沖縄科学技術基盤整備機構 大学院  
院大学先行研究プロジェクト・代表研究者）  
シンポジウム  
一般演題  
市民講座 「生活習慣病の予防—小児期からの  
対策—」  
大会事務局：

〒903-0215 沖縄県中頭郡西原町字上原207番  
地  
琉球大学医学部形態機能医科学講座  
生理学第一分野  
第17回日本病態生理学会大会事務局  
Tel：098-895-1108（直通）  
Fax：098-895-1402  
E-mail：physiol1@med.u-ryukyu.ac.jp

---